

法人（事業所）理念		地域の中で、関わる全ての人が人としての尊厳を守られ、豊かな人生の自己実現に貢献する										
支援方針		①社会的スキルと生活能力の向上： 児童が他者と関わりながら、協力する力や感情を理解し表現する力を学ぶ環境を提供する。また、生活に必要な「食べる」「着替える」「排泄」等のスキルの習得を、個々の発達段階や課題に合わせて支援していく。 ②個々のニーズに合わせたアプローチ： 集団の中で個々の児童に合わせた支援を提供していく。 ③のびのびと安心して過ごせる環境作り： 楽しい活動や様々な成功体験を通じて自己肯定感を育み、子どもらしくのびのび過ごせる環境を提供していく。 ④地域の一員として生活する機会を作る： 地域の方々との交流を積極的に行い、社会を構成する一員として市民生活が送れるよう支援していく。										
営業時間		平日 休校日	14 10	時 00	00 00	分から	18 17	時 00	00 00	分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	・定期的な心身の把握(検温・気分把握) ・生活リズムの安定(定期的かつ定時に通所) ・構造化を意識した部屋のレイアウト ・児童の特性や体調に合わせた食事（おやつ・昼食）の提供 ・感情コントロールのために、気持ちを伝えるための絵カードや写真カードの整備 ・手洗い、季節に合わせた服装、歯磨きなど健康維持に必要な基本的生活スキルの獲得を支援										
	運動・感覚	・日々の体操（ラジオ体操、その他児童向け音楽）や外出（公園、公共施設）を通して、体力の向上や体を動かす習慣の獲得を支援 ・ボールを使い、指先の感覚や体の使い方の学習を支援 ・階段の上り下りを通じて、四肢の強化を支援										
	認知・行動	・季節変化への興味関心や感性形成のための外出や季節のイベント、季節を感じる昼食の提供を実施 ・ごっこ遊びを通して、物の名前や金銭感覚の認知を支援 ・タイマーを利用し、時間の認知を支援 ・ブロックや色つきカードなど色のあるものを使い、色の認知を支援 ・数字カードを使用し、数字の読み方や順番の認知を支援 ・絵本の読み聞かせや文字プリントを通して、文字の読み書きの習得を支援										
	言語 コミュニケーション	・会話の中で「誰と」「いつまで」などのやり取りを行い、コミュニケーションに必要な内容を自発的に言語で伝えられるようになるための支援 ・言語で伝えられない児童に対しては、絵カードや写真カードを用いて伝えられるようになるための支援 ・場面とあいさつの書かれたカードを用いて、場面に合わせたコミュニケーションができるようになるための支援										
	人間関係 社会性	・集団活動（ブロック遊び、ボール投げ、カード遊び、ぬりえ）を通して、「同じものを一緒に使う人間関係の構築」「ルールを守る社会性の発達」を支援 ・集団活動に参加できない児童に対しては、職員が声掛けを行い児童に合った方法で一緒に参加できるように支援 ・ごっこ遊びを通して、集団でひとつのものを作り上げる社会性の獲得を支援										
家族支援		・保護者面談(必要に応じて) ・関係機関との連携(必要に応じて)					移行支援		・進学先、就労先への情報共有 ・進学、就労、環境変化に向けての課題提示及び実践			
地域支援・地域連携		・各関係各所との連携(相談支援事業所、学校、こども家庭センター等) ・自立支援協議会への参加					職員の質の向上		・新人研修（入社1ヶ月以内） ・内部研修（年6回） ・外部研修（東京都や自治体開催、定期的）			
主な行事等		・昼食提供（休校日） ・各季節イベント(お誕生会、お花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、卒業式など) ・外出イベント(1日外出、サッカー教室、公園、館内など) ・ボランティアによるゴスペル開催や読み聞かせ										